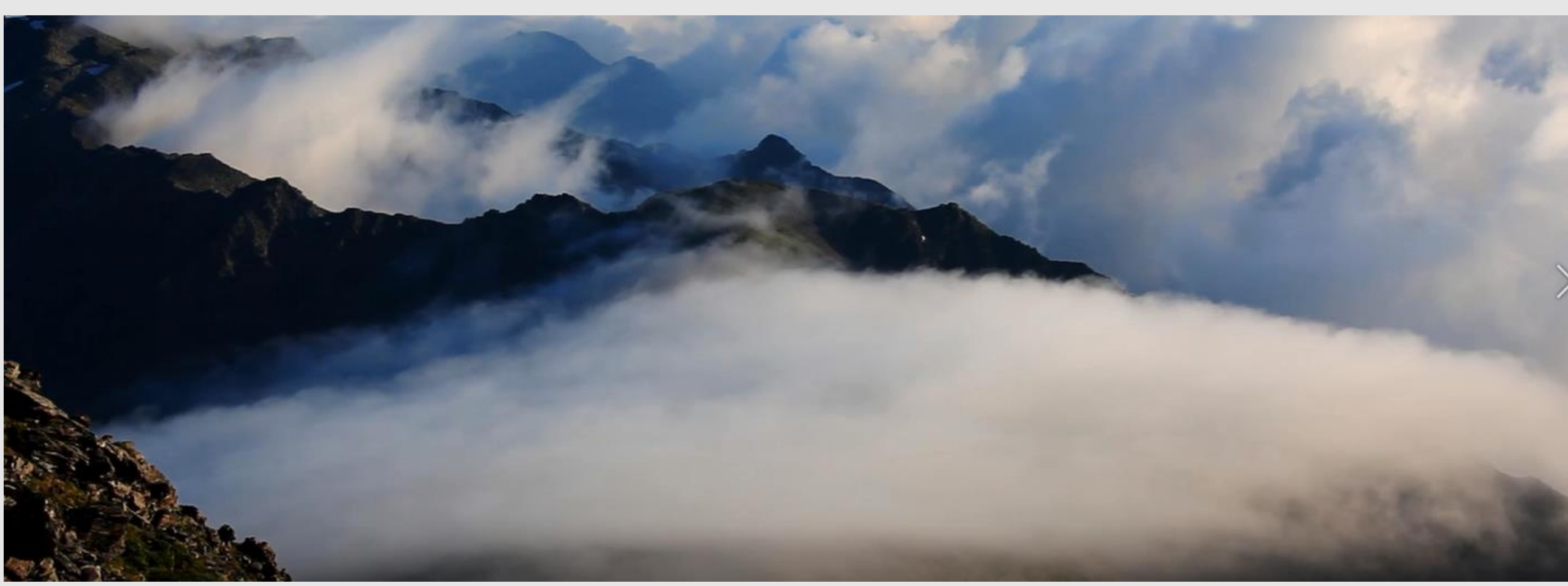
日本アルプスガイドセンター
2019年度
アニュアル　レポート

The Japan Alps
Breathtaking! The Japan Alps!



一般社団法人　日本アルプスガイドセンター

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

総　括
Overall Review

2019年春、日本アルプスガイドセンターは一般社団という非営利型法人の形として発足、広く世界から日本アルプスへの登山・アウトドアを目的とした来訪を促進させ、地域社会の活性化へつなげるとともに、日本アルプスが世界の観光TOP ブランドへ育つ一助となることを目標として掲げ事業を立ち上げました。

同年7月1日にはWebサイト「The Japan Alps」をリリース、従来のルート紹介サイトや登山サイトには無い、ワンストップで登山やハイキングの情報が見られるガイドサイトとしてその運営を開始、山岳観光、登山やアウトドアファンに向けた、すぐに使える実践的な情報という、新たなサイトとして位置づけられています。8月には英語ページも立ち上げ、急増するインバウンドハイカー向けに情報提供を開始、まとまった形の英語ハイキングガイドとしても脚光を浴びています。山小屋などの英語情報は一部の大きな山小屋からの発信を除けば、ほぼ初めての情報提供となり、外国人にとっては非常に有用なサイトとして機能しつつあります。

また、いわゆるピークハントだけではなく、幅広いアウトドアファンへの観光情報として、日本アルプス山域を舞台とした様々なアクティビティ、高山植物や紅葉、温泉などにも幅広く焦点を当て、山と同じように紹介をするコンテンツも11月に立ち上げました。その一つとして最も注目を集めているのは2020年3月にUPした「野生動物の観察」というアクティビティの紹介。元来世界の中でも動植物のホットスポットとして知られる日本ですが、2019年から始まった環境省の野生動物をインバウンド観光につなげるプロジェクトの一環として、一部環境省の支援も受けて立ち上がったものです※。ただ景色景観を楽しむだけではなく、ユニークな、従来にはない発見や体験を生むアクティビティとして、新たな観光資源の可能を感じさせてくれます。日本アルプス山域にはこうしたいくつもの変化と多様性を感じさせてくれるアクティビティが数多くあり、少しづつとはなりますがそうしたコンテンツの紹介も増やしてまいります。

一方で年が明けた2020年は、年初よりCOVID-19のパンデミックによって、全くの想定外となる事態となってしまい、今後の一般社団法人としての事業活動に影響が及ぶことは間違いありません。登山、ハイキング、アクティビティなどあらゆる山岳観光には大きな制限がかかる環境となります。また大きな需要拡大を想定していたインバウンドのハイキングについて、今年は皆無となることも想定され、元に戻るまでには数年がかかる前提を必要とします。

初年度を総括すると、WebサイトのPVも十分ではない中で、まずは関係者のご支援によって事業をスタートさせることができた1年と言えます。事業スタート早々でCOVID-19 の影響による苦難と直面する事にはなりましたが、日本アルプス地域や山岳関係の観光事業者に対して、少しでもサポートとなるように2年目は1年目にできなかったWebサイトコンテンツをより一層充実させ、まずは日本での山岳観光を支える1番必要なサイトを目指します。

2020年5月
一般社団法人日本アルプスガイドセンター
代表理事　新美　透

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

事業内容
Vision
理事

一般社団法人　日本アルプス ガイドセンター2019年4月　発足

事業目的　　広く世界から日本アルプスへの登山・アウトドアを目的とした来訪を促進させ、地域社会の活性化へつなげるとともに、日本アルプスが世界の観光TOPブランドへ育つ一助となる。

事業概要　　世界中の（海外、国内）登山者、ウインタースポーツ愛好者、アウトドアファンに向けて、日本アルプス（八ヶ岳、霧ヶ峰、美ヶ原などのエリア含む）山域の登山・アウトドア情報と関連する有益なサービスを提供する。

VISION「３つのハブとなる」

世界中の登山者、アウトドアファンと
日本アルプス圏域とをつなげるハブとなり、
日本アルプスの魅力を世界中に拡散する
Global Brand

次世代の登山者、
アウトドアファンへつなげるハブとなり、
日本アルプスの魅力を彼らに継承していく
Sustainability

日本アルプスを通じて地域社会や行政、
民間の力を横につなげるハブとなり、
地域の活性化への力となる
Crossover

事業名称　　一般社団法人　日本アルプス ガイドセンター

本　社　　東京都　渋谷区渋谷3-6-2　エクラート渋谷5F HUB内
事業所　　長野県塩尻市広丘高出2205

役　員　　代表理事　新美　透　（元アサツーディ・ケイ営業局長）
専務理事　中林　玲　（Web制作会社イーオフィス　代表取締役）
理　事　　加藤銀次郎（全国山の日協議会　運営委員、元松本市山岳観光課　課長）
理　事　　中田　真二（山歩家　山岳ライター）
理　事　　冨生　昌史　（ADK　クリエイティブディレクター）
監　事　　磯野　剛太　（全国山の日協議会 理事長、日本山岳ガイド協会 理事長）

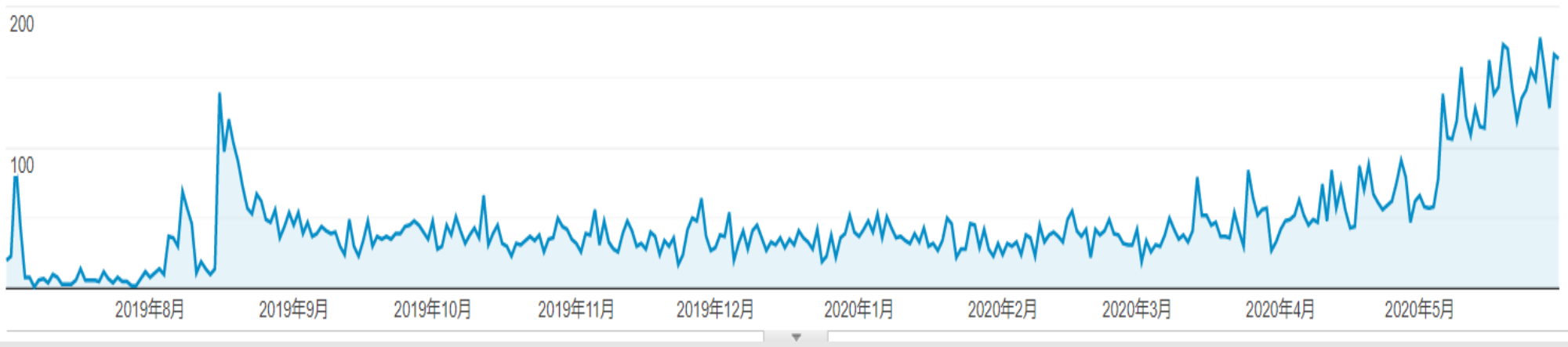
連絡先　　03-5324-2385
※監事、磯野剛太氏はさる2019年3月11日ご逝去されました。後任が決まるまで監事は空席となります。

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

「The Japan Alps」

Webサイトユーザー分

アクティブユーザー　日別推移　2019年7月開設～2020年5月末

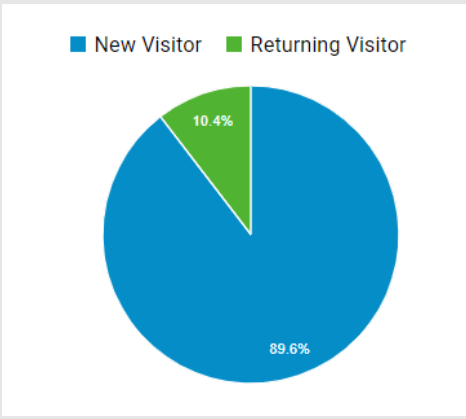


- トータルユニークユーザー数
  2019年7月～2020年5月　15,677

- 月間のユニークユーザー数
  2019年7月　346　→　2020年5月　3,943

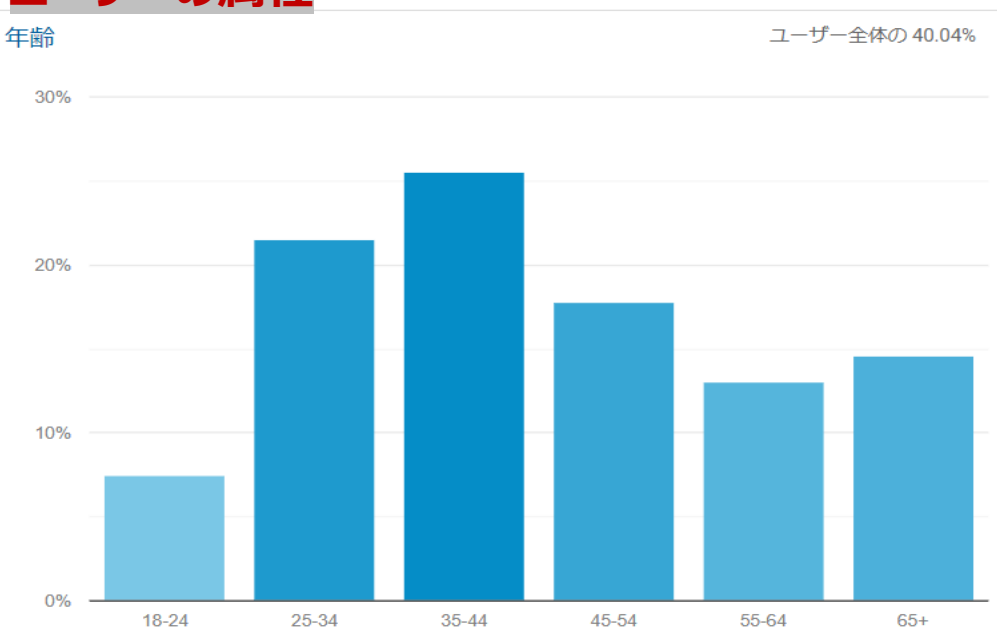
- 月間PV数
  2019年7月　3,970　→　2020年5月　11,540

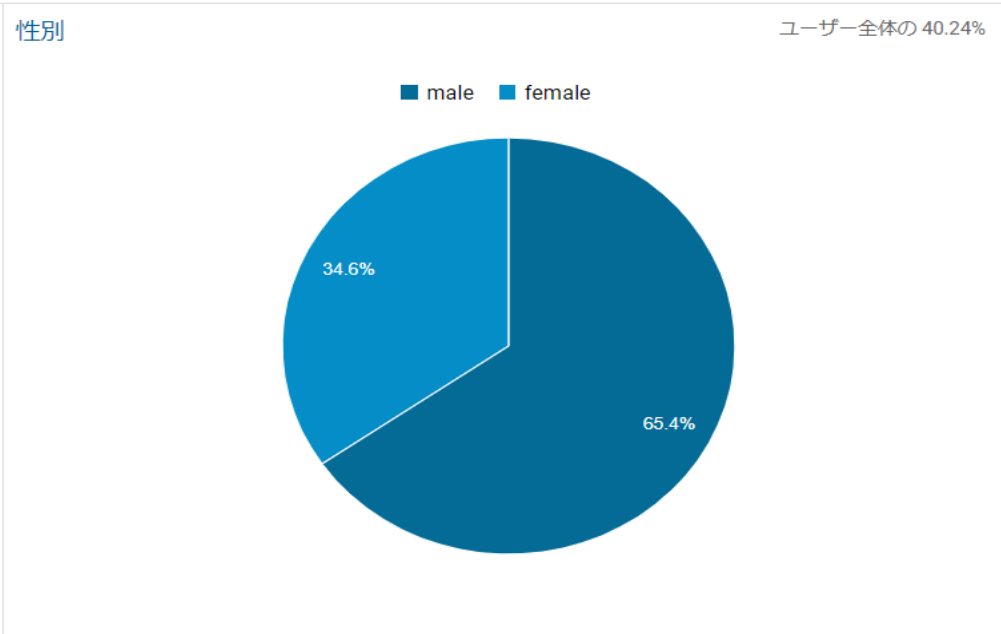
- 利用者の9割が新規ユーザー



アクティブユーザー　比率

ユーザーの属性



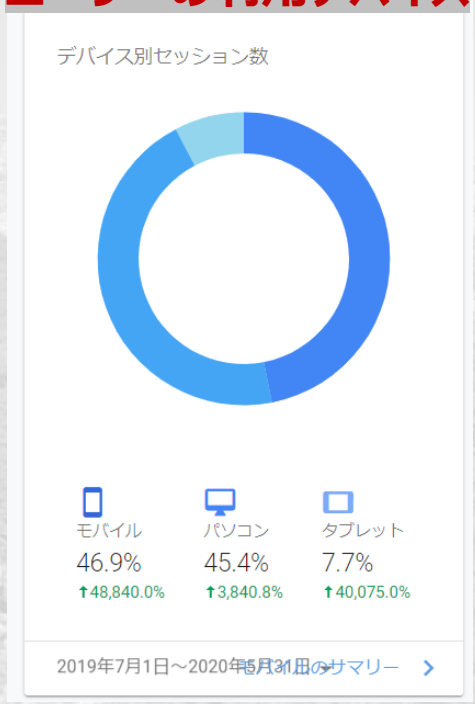


- 利用者の65%が男性

- 利用者の47%が25-44歳と若い世代

- デバイスはPCとモバイルがほぼ同比率

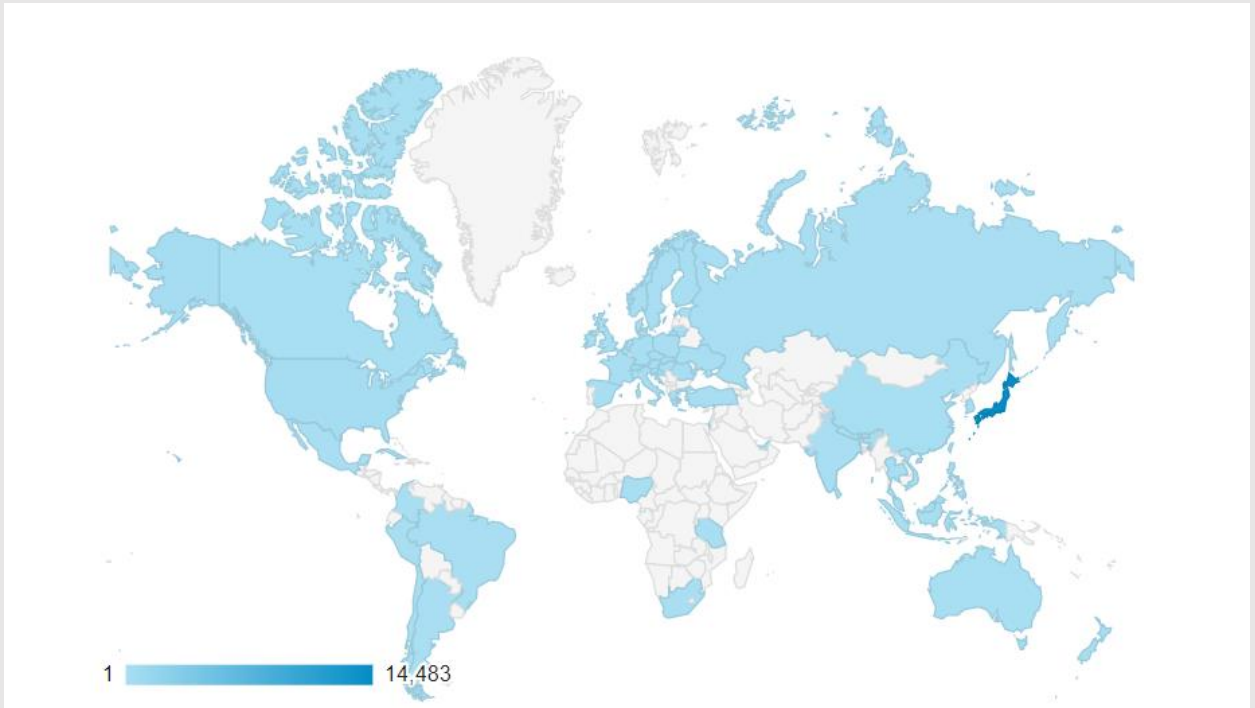
ユーザーの利用デバイス



© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

アクティブユーザーの国別利用者数

	15,705 全体に対する割合: 100.00% (15,705)
1. Japan	**14,483** (92.10%)
2. United States	**291** (1.85%)
3. Singapore	**113** (0.72%)
4. Thailand	**94** (0.60%)
5. Australia	**72** (0.46%)
6. Taiwan	**58** (0.37%)
7. France	**55** (0.35%)
8. Malaysia	**53** (0.34%)
9. United Kingdom	**52** (0.33%)
10. China	**48** (0.31%)
11. Canada	**47** (0.30%)
12. Hong Kong	**46** (0.29%)
13. Germany	**42** (0.27%)
14. South Korea	**27** (0.17%)
15. Netherlands	**21** (0.13%)



- 国別利用者では　日本が約92%　日本以外が約８％
- 利用者は延べ62か国に及ぶ
- 「TOPページ」、「日本アルプスの魅力」ページのPVが高い
- 平均ページ利用時間　2:58

ページ別ページビューアカウント

	59,528 全体に対する割合: 100.00% (59,528)
1. THE JAPAN ALPS | THE JAPAN ALPS	**8,762** (14.72%)
2. 日本アルプス紹介 | THE JAPAN ALPS	**7,573** (12.72%)
3. 日本アルプス 登山ルート情報 | THE JAPAN ALPS	**4,008** (6.73%)
4. 日本アルプスを登る、歩く | THE JAPAN ALPS	**3,581** (6.02%)
5. 山小屋とキャンプ場 | THE JAPAN ALPS	**2,983** (5.01%)
6. 日本アルプスの魅力 | THE JAPAN ALPS	**1,860** (3.12%)
7. 日本アルプスのロケーション | THE JAPAN ALPS	**1,542** (2.59%)
8. 日本アルプスガイドセンターについて | THE JAPAN ALPS	**1,217** (2.04%)
9. 日本アルプスのアクティビティ | THE JAPAN ALPS	**1,107** (1.86%)
10. The mountain hut & mountain camping ground | THE JAPAN ALPS	**1,002** (1.68%)
11. The Japan Alps-Climbing ＆ Hiking | THE JAPAN ALPS	**947** (1.59%)
12. Route Information | THE JAPAN ALPS	**829** (1.39%)
13. 運営事業法人 | THE JAPAN ALPS	**825** (1.39%)
14. 日本アルプス 登山事前情報 | THE JAPAN ALPS	**802** (1.35%)
15. 日本アルプスガイドセンター パートナー情報 | THE JAPAN ALPS	**781** (1.31%)

ウエブサイト「The Japan Alps」が立ち上がり10ヶ月が経過いたしました。昨年8月に雑誌PEAKSへ取り上げて頂いた事で、一時的に伸長したユニーク数、PV共にシーズンが終了する動きと相まって、その来訪者は少数のまま推移、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も加わり、4月までは大きな変化がありませんでした。
しかし、5月にTOPページを改定して見易くなったことや、コロナウイルス蔓延による厳しい山岳観光の状況ながらも、山のシーズンに備える傾向からか4月後半、そして5月に入って新たなアクセスが増加に転じ、ようやくPV10,000/月間を越えました。まだまだそのマーケティング価値は十分とは言えませんが、TOPページの改定とこれから行われる、難易度別のルート照会やアクセス、今後の新しいルート情報や宿泊施設・温泉施設の紹介などのコンテンツが加わっていくことによって全体のアクセスやPVも上がっていくことが期待されます。
世代的には特に20代から40代のアクセスが多く、今後の登山やアウトドアを活性化させていく上でこの傾向は素晴らしく、狙い通りのターゲットを捉えています。
また当初30%を目標としていた、海外からのアクセスについては、訪日への可能性が今年は残念ながら下がっていることからも、そのアクセス数は減少傾向となっており、おおよそ10%程度にとどまっています。しばらくは積極的に海外からのページ来訪者数を上げて行くよりは、情報だけは継続的に英語でも日本語と並行して発信するスタンスを続け、海外山岳観光需要の開発は、将来に向けてその可能性を維持し続けます。
また現在の検索行動は「日本アルプス」や「Japan Alps」によるリスティング上位からくる流れですが、本来の登山やハイキングのプランにおける行動では、「山名」や「山名登山」、「山名登山ルート」などのワードからの検索行動が多いと思われます。「The Japan Alps」のルートガイドページも徐々にこうした検索で少しづつですが上に来る傾向が出てきています。こうした検索に上がってくるとPVそのものが今後大きく加算していく可能性があります。
Ex槍ヶ岳登山ルート検索は現在12番目、白馬岳登山ルート30番目、穂高登山ルート21番目にそれぞれリストされています（5月31日現在）。

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

パートナーA/
賛助会員

●2019年度、賛助会員様として事業をサポートしていただいている企業様、個人様の状況

◆オフィシャルパートナー（特別賛助会員様）　1社

株式会社 フジドリームエアラインズ様

◆プロフェッショナルパートナー、エリアパートナー（法人賛助会員様）　５社

次に登る日を、もっと好い日に。
好日山荘

株式会社 好日山荘様

No1.V-shaped Gorge in Japan
黒部峡谷トロッコ電車

黒部峡谷鉄道 株式会社様

AUTHENTIC JAPAN 株式会社

e-office

有限会社 イーオフィス様

PAO
Promotion of Area Communication

株式会社 ピーエーシー様

◆プライベートパートナー（個人賛助会員様）@3,600円

83.3口会員様　２名様
5口以上の会員様　1名様
1口以上の会員様　53名様

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

パートナーB/
ご協力法人・個人

●プライベートパートナー/ 個人賛助会員になると、いくつかの権利を付与させていただきます。

・毎年ニホンアルプスガイドセンターが代表して賛助会費の一部をまとめ、日本アルプス山域のためになる
　寄付行為を行います。
・ウエルカムプレゼントチケットを1口につき1枚差し上げています。
　このチケットを山小屋などのご協力法人へ渡していただくと、山小屋からプレゼントを差し上げています。
・その他今後交通事業の割引やお店の割引などを進めて参ります。

以下は会員向けのサービスなどでご協力いただいている法人や今年の寄付内容です。

◆2019年シーズン、プライベートパートナー/ 個人賛助会員様向けの特典でご協力いただいている法人

・穂高岳山荘様
・涸沢ヒュッテ様
・上高地　五千尺ホテル様
・上高地ルミエスタホテル様（アルピコホールディングス様）
・上高地アルペンホテル様（松本市様）
・上高地温泉ホテル様
・中の湯温泉様

◆2020年個人賛助会員様から山岳関係者への寄付

40,320円（224口×180円）
2019年度分として山小屋エイド基金へ拠出いたしました。

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

TOPIC
環境省
補助事業

日本アルプスガイドセンターでは、2020年3月、環境省が新しく始めた野生動物観光促進事業の支援を受け、日本アルプスを舞台とした野生動物観察コンテンツをスタートしました。
これは元々は国の国際観光旅客税を財源とした国立公園等資源整備事業費補助金を活用し、外国人訪問者を対象とした野生動物を観察するツアーの開発や、それらのツアーのプロモーション等を行う野生動物観光促進事業が行われ、外国人訪問者の地域における体験滞在の満足度を向上させる取組に対して行われる環境省の支援事業です。

日本アルプスガイドセンターが事業発足した大きな目的の一つは、インバウンドにおける日本アルプス来訪の促進です。その意味からも日本の国立公園を世界に広げようと考える環境省の戦略は、デスティネーションマーケティング視点でも私たちの考え方に合っています。
日本アルプスは全てが国立公園に該当するわけではありません。ただその山域の豊かな自然の魅力は、例え国立公園に指定されていない場所でも素晴らしいものがありますし、更に言えば景色や景観の変化や多様性だけではなく、その環境によって育まれた固有の「野生動物」達の中にもあります。日本アルプスガイドセンターとしては、山へ登る、あるいはハイキングに行くことだけではなく、例えば野生動物と触れ合う、ようなことがインバウンド含めた多くの人たちの来訪の目的となっても良いと考えます。
もちろん野生動物の存在は必ずしも全てが観光資源として活用されるべきものではありませんが、少し長い視野で考えると、インバウンドや日本人を含めた全ての日本アルプス来訪者の野生動物への理解を深め、生態環境を守る意識を持たせ、場合によって積極的な保護を行うことは、日本アルプスの自然を守り、ひいては日本という世界の中でも奇跡のような固有環境を持つ自然を守ることにつながるものと考えます。

日本アルプスガイドセンターも環境省の進める事業に賛同し、2019年度は日本アルプス山域における野生動物（哺乳類）の観察可能性やその方法をメディアとして紹介しました。そして2020年度は野生動物の範囲を野鳥類や鱗翅類に広げ、それだけではなく環境省や地元の事業者などと連携して、観察会などの実態のある事業を開発し、将来それが継続できるような支援を行ってまいります。

©飯島正広写真事務所
©海野和男写真事務所

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

決算/KPI
2019

◆法人収入（千円）

会費収入 1,582	補助金収入 2,321
法人収入 3,903	

◆営業収支（千円）

収入 3,903	販管費/一般管理費 11,239
	営業収支 ▲7,335

◆法人パートナー数（オフィシャル含む）

6 社

◆個人賛助口数

224 口

◆個人会員向け特典、ご協力法人数

7 社

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

KPI
For 2021

	2019計画	2019実績	2020計画	2020修正	2021修正
収入	1,570	**3,903**	6,300	4,000	6,000
営業収支	▲9,582	**▲7,335**	▲6,550	▲5,000	▲4,000
法人 パートナー	10社	**6社**	30社	4社	15社
個人 パートナー	233口	**224口**	330口	200口	300口
協力法人		**7社**	15社	30社	50社

2019年事業スタート年次の会計数字は、期初計画に比べると収入が上がり、結果営業収支は見込みよりも赤字幅が少なくなりました。これは主にサイト制作費が原稿費などで想定ほど掛からなかったことによるものです。想定外だったのは環境省の野生動物観光促進の申請が認められ、事業費収入は加算されましたが、補助金の支給はあくまで半額支給が前提であるため、事業そのものは大幅な赤字となっています。ただこの投資はその社会的意義と今後の事業の可能性を拡げるものとしても捉えられ、2年目以降も継続して行きたいと考えています。
2年目となる2020年は当初コンテンツが充実していくことによって、ページ来訪者が伸び、ウェブそのもののマーケティング価値が高まり、法人会員増加につながると考えていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、山岳観光事業は多大な影響を受けてしまい、今期山小屋の多くが開業できない事態となるなど、事業を進めていく上では非常に厳しい環境にさらされています。
従って今期2020年は、無理をしてでも法人会員を増やすような進め方は難しいと判断、環境省と事業を進めることで山岳関係者をサポートしたり、山岳ガイドを紹介するページを作るなど、山岳観光へのできるだけの支援を行い、そうした活動を通じてウェブサイトのコンテンツを充実させ、来訪者を確実に増やし、マーケティング上の価値を更に高めることで、2021年以降に改めて会員獲得に向けた積極的な動きに転じたいと考えたい考えています。

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

FY1事業決算Ⅰ
B/S

貸借対照表

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

Tenbook

単位: 円

	2020/03/31	Flux
資産の部		
現金及び預金	1,612,332	
前渡金	1,550,000	
未収入金	2,321,242	
流動資産	5,483,574	
創立費	4,751,082	
繰延資産	4,751,082	
資産	10,234,656	
負債の部		
未払金	1,609,630	
未払法人税等	64,100	
預り金	21,920	
流動負債	1,695,650	
長期借入金	15,938,481	
固定負債	15,938,481	
負債	17,634,131	
純資産の部		
当期純損益	△ 7,399,475	
利益剰余金	△ 7,399,475	
株主資本	△ 7,399,475	
純資産	△ 7,399,475	
負債・純資産合計	10,234,656	

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.

FY1事業決算Ⅱ
P/L

損益計算書

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

Tenbook

単位: 円

	2019/04/23 2020/03/31	Flux
売上高		
会費収入	1,582,520	
補助金収入	2,321,241	
売上高	3,903,761	
売上総利益	3,903,761	
販管費		
役員報酬	2,700,000	
給料手当	316,000	
法定福利費	91,830	
外注費	6,050,316	
接待交際費	141,598	
会議費	43,917	
諸会費	60,000	
旅費交通費	903,159	
通信費	83,199	
荷造運賃	2,038	
販売促進費	17,120	
消耗品費	132,167	
支払手数料	348,730	
地代家賃	285,773	
租税公課	63,300	
販売費及び一般管理費	11,239,147	
営業損益	△ 7,335,386	
営業外収益		
受取利息	11	
営業外収益	11	
経常損益	△ 7,335,375	
税引前当期純損益	△ 7,335,375	
法人税		
法人税等	64,100	
税金費用	64,100	
当期純損益	△ 7,399,475	

会計報告：シンアカウンティングサービス

© The Japan Alps Guide Center All Rights Reserved.